

ずし市議会だより

2023年◆12月1日

166号

神武寺の秋（逗子フォトより）

主な項目

第3回定例会（9月6日～29日）

- 議案の審議結果 2… 3 ページ
- 今定例会で可決した意見書・決議 5 ページ
- 令和4年度一般会計ほか4会計決算の審議結果 6… 7 ページ
- 一般質問（14人登壇） 8…14ページ

第3回定例会（9月6日～29日）

一般会計補正予算など20議案を可決 14人の議員が市政一般について質す

今定例会の概要

令和5年市議会第3回定例会は、9月6日から29日までの24日間の会期で開会しました。この定例会では、工事請負契約の締結、市立体育館の指定管理者の指定についてのほか、市民交流センターのフェスティバルパークへの人工芝敷設工事にする経費として市民交流センター整備事業の増額等を内容とする一般会計補正予算（第5号）、継続審査になっていた葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議についてなど市長提出の20議案のほか、人権擁護委員の推薦についての諮問1件、陳情8件の審議が行われ、審議の結果、議案20件を原案どおり承認・可決・同意、諮問は異議ない旨答申、陳情3件を了承、5件を不了承としました。また、9月27日、28日、29日の3日間、市政一般について14人の議員が一般質問を行いました。このほかに、議員発議による意見書案1件・決議案3件を可決し、閉会しました。

議案の審議結果

▼専決処分の承認について…承認（全員賛成）

令和5年度逗子市一般会計補正予算（第4号）は、新型コロナウイルススワクチンにおける令和5年秋開始接種の接種方針が決定されたことから、新たに対象となる市民への接種券等の送付、コールセンターの外部委託等により、円滑な接種体制を引き続き確保する経費として新型コロナウイルススワクチン接種事業997

7万1000円、環境クリーンセンター2号炉ガス冷却室内の耐火物崩落のため、緊急に実施する更新工事に係る経費として焼却施設維持管理事業1824万9000円を増額し、これに見合う歳入は国庫支出金等を増額して措置するもので、これにより予算の総額は228億2962万4000円となります。

▼工事請負契約の締結について…原案可決（全員賛成）

高機能消防指令センター整備事業について、沖電気工業株式会社と契約金額3億66

82万9760円で契約を締結するものです。

▼動産の取得について…原案可決（全員賛成）

災害対応特殊救急自動車購入について、神奈川県産自動車株式会社から契約金額2211万円で取得するものです。

▼逗子市立体育館の指定管理者の指定について…原案可決（全員賛成）

市立体育館について、令和6年4月1日から令和11年3月31日まで指定管理者を指定するに当たり、提案されたものです。

▼逗子市都市公園有料の公園施設の指定管理者の指定の期間の変更について…原案可決（全員賛成）

都市公園有料の公園施設について、現在令和6年3月31日までとしている指定管理者の指定期間を、令和7年3月31日まで1年延長する必要があるため提案されたものです。

▼逗子市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正について…原案可決（全員賛成）

新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律の施行による新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴い、引用条項及び字句の整理をするに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼逗子市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について…原案可決（全員賛成）

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による就学前

の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、引用する条項ずれに対応するため提案されたものです。

▼令和5年度逗子市一般会計補正予算(第5号)：原案可決(賛成多数)

今回の補正は、市民交流センターのフェスティバルパークへの人工芝敷設工事に要する経費として市民交流センター整備事業2365万円を計上、予防接種健康被害救済制度に基づき、対象者が負担した医療費等について、対象者に支給するための経費として予防接種健康被害給付費4459万9000円を増額するなど、歳出の合計は1億1659万8000円の増額となり、これに見合う歳入は国庫補助金のほか所要の財源を措置するもので、これにより予算の総額は229億4622万2000円となります。

▼令和5年度逗子市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)：原案可決(全員賛成)

今回の補正は、令和6年4月から開始するコンビ二収納

に伴うシステム改修等の準備経費として保険料徴収事務費456万6000円を増額し、これに見合う歳入は繰入金をもって措置するもので、これにより予算の総額は13億4376万6000円となります。

▼令和5年度逗子市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)：原案可決(全員賛成)

今回の補正は、令和6年4月から開始するコンビ二収納に伴うシステム改修等の準備経費として保険料賦課徴収事務費568万2000円、通院等に要する移送サービスに対する給付費について、給付実績の増加に伴う不足見込額を増額することに要する経費として特別給付費給付事業160万円を増額し、これに見合う歳入は繰入金をもって措置するもので、これにより予算の総額は67億5208万3000円となります。

報告事項

▼株式会社パブリックサービス
の経営状況の報告について

市議会第3回定例会日程概要

- 9月1日 議会運営委員会(議事日程等協議)
- 6日 本会議(第1日)会期を9月29日までの24日間と決定、一部議案の採決、議案等委員会付託
議会運営委員会(陳情の審査、採決)
- 7日 教育民生常任委員会(議案・陳情の審査、採決)
- 8日 総務常任委員会(議案・陳情の審査、採決)
- 11日 本会議(第2日)決算特別委員会設置、同委員選任、同委員会に決算議案付託
決算特別委員会(正副委員長の互選等)
- 12日 決算特別委員会(所管別審査)
- 13日 決算特別委員会(全般審査)
- 14日 決算特別委員会(全般審査)
- 19日 決算特別委員会(総括結論)
- 20日 基地対策特別委員会(調査)
- 26日 議会運営委員会(追加案件協議)
- 27日 本会議(第3日)議案の委員長報告・採決、陳情審査の結果報告、一般質問
- 28日 本会議(第4日)一般質問
- 29日 本会議(第5日)一般質問、追加議案の採決、意見書案・決議案の採決

株式会社パブリックサービスの第32期事業報告及び第33期事業計画について、報告されたものです。

▼専決処分の報告について
(損害賠償の額の決定)

令和5年4月28日、新宿4丁目地内で発生した緑政課専用車の自動車事故に伴う損害賠償について、専決処分したので、報告されたものです。

▼専決処分の報告について
(損害賠償の額の決定)

令和2年3月18日、24日及び27日に小坪5丁目449番2

号地先の国有海浜地内において、他人の碇10本を誤って処分したことに伴う損害賠償について、専決処分したので、報告されたものです。

▼継続費精算報告について

令和4年度一般会計予算において、防災行政無線施設整備事業に係る継続費の継続年度が終了したので、報告されたものです。

▼継続費精算報告について

令和4年度下水道事業会計決算において、水処理及び汚泥処理設備改築工事に係る継

続費の継続年度が終了したので、報告されたものです。

▼健全化判断比率について

令和4年度決算に基づく健全化判断比率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき報告されたものです。

▼資金不足比率について

令和4年度決算に基づく資金不足比率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき報告されたものです。

人事案件

▼教育委員会委員の任命について：同意可決（全員賛成）

氏名 高橋 康氏「再任」
任期 4年

▼情報公開審査委員の委嘱について：同意可決（全員賛成）

氏名 大関 亮子氏「再任」
任期 3年

▼個人情報保護委員の委嘱について：同意可決（全員賛成）

氏名 大関 亮子氏「再任」
任期 3年

▼人権擁護委員の推薦について：異議ない旨答申（全員賛成）

氏名 中西 佳子氏「再任」
任期 3年

今定例会で結論が出た議案

閉会中継続審査になっていた議案で今定例会において結論が出た案件は、次のとおりです。

▼葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議について：原案可決（全員賛成）
鎌倉市及び葉山町とのごみ

処理の広域連携に係る覚書に基づき、葉山町に設置予定の施設で本市の生ごみ資源化の共同処理を実施するに当たり、地方自治法に基づく事務委託をするため、提案されたものです。

▼逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について：原案可決（賛成多数）

逗子市、鎌倉市及び葉山町の2市1町におけるごみ処理広域連携の一環として、葉山町に設置予定の施設で逗子市の生ごみ資源化の共同処理を実施することに伴い、生ごみの処理に係る指定収集袋及び手数料の規定を定めるに当たり、改正する必要があるため提案されたものです。

提出された陳情の要旨・審査結果

▼逗子市議会議員政治倫理条例改正に関する陳情

工藤純一さんから提出されたもので、地方自治法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、逗子市議会議員政治倫理条例の改正を切望する、というものです。

この陳情は、議会運営委員

会に付託。審査の結果、賛成なしで不承となりました。

▼請願・陳情における個人情報報等の取り扱いに関する陳情

工藤純一さんから提出されたもので、他市議会のホームページで記載されている請願・陳情の個人情報の取扱いに関する記載を、本市議会ホームページ上に掲載することを切望する、というものです。

この陳情は、議会運営委員会に付託。審査の結果、賛成なしで不承となりました。

▼令和6年度における「重度障害者医療費助成制度の継続」についての陳情

逗葉腎友会会長 江崎順一さん外1団体から提出されたもので、令和6年度予算策定に際し、重度障害者医療費助成制度について透析者、障がい者が負担なく医療を受けられるよう切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、全員賛成で了承されました。

▼令和6年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情

逗葉腎友会会長 江崎順一

さん外1団体から提出されたもので、令和6年度予算策定に際し、透析治療への通院困難者対策として、通院支援の助成が継続されるよう切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、全員賛成で了承されました。

▼現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情

神奈川県保険医協会理事長 田辺由紀夫さんから提出されたもので、2024年秋に現行の紙の健康保険証を廃止するとした政府決定を見直し、健康保険証の存続を求める旨の意見書を国に提出することを切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不承となりました。

▼政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

田中利男さんから提出されたもので、庁舎内の政党機関紙の勧誘、配達、集金行為に心理的圧力を感じている職員がいらないか現状把握に努めるとともに、庁舎内管理規則に基づくルールを明確にし、とりわけ、政治的中立性への住民の不安を解消することを切

望する、というものです。

この陳情は、総務常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不承となりました。

▼従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書提出の陳情

神奈川県土建一般労働組合鎌倉逗子葉山支部 菅原智和さん外1団体から提出されたもので、国に対し、従来型の紙の健康保険証の存続を求める意見書を提出することを切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不承となりました。

▼保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書を国に提出することを求める陳情

公益社団法人神奈川県地方自治研究センター理事長 佐野充さんから提出されたもので、保育士の保育施設配置基準を少なくともOECD先進国並みに改善するとともに、必要な財源を十分に確保するよう国に対して意見書の提出を切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、賛成多数で了承されました。

今定例会で可決した意見書・決議を関係機関に送付しました

保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書

子供は、他の何ものにも代えることのできない大切な存在である。しかし、近年、公立・私立にかかわらず保育施設において、子供の尊い命が失われるという事態が生じている。もはや子供の命と安全が危機的な状況にあると言わざるを得ず、保育施設での重大事故は、保育士をはじめとした保育所スタッフの人員不足が大きな原因であることは明らかである。

こうした中、保育施設の職員配置基準は長い間見直しさがされておらず、特に4・5歳児においては保育士1人につき30人とされており、国際的に比較してもかなり低い水準のままである。また、多くの自治体で独自の配置基準を設け人員を配置しているが、その分に関わる財源は全て現場任せとなっている仕組み自体も問題である。

2021年度政府調査によると、保育士の平均月給は全産業平均より約5万円低く、責任と見合わない処遇から離職や新規採用者が集まらず人員不足が一層深刻化している。子供たちの安全を第一に、保育の質の維持・向上に努めている保育士の離職防止と人材確保に向け、適切な配置基準への改善と必要な財源確保を求めるものである。

よって、逗子市議会は国に対し、保育士の保育施設配置基準を少なくともOECD先進国並みの配置基準に改善するとともに、必要な財源を十分に確保し、次の事項が実施されるよう要望する。

- 1 保育施設の配置基準を引き上げ、保育士の増員を図ること
- 2 保育施設・放課後児童クラブ施設等職員の処遇を改善し、標準的な労働者の年収を確保するための予算を措置すること。
また、正規職員としての就労を希望する非正規職員の正規化及び雇用安定を促すための支援策を講じること
- 3 公定価格を引き上げ、保育職場で働く全ての職員の処遇改善を図ること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月29日

逗子市議会

葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議に関する決議

近年の課題となっているごみの最終処分場の不足や二酸化炭素排出抑制の観点から、本市はリサイクルを含めた、持続可能なごみ処理に取り組んできた。

生ごみ処理に関しても分別化を進める逗子市と葉山町における広域的な協力は非常に有効かつ合理的なものであり、逗子市と葉山町はこれまで処理量割及び搬入量割を基本に、共同処理を進めてきた経緯がある。

しかし、生ごみ処理に関しては、逗子市は搬入量割、葉山町は人口割と主張が異なっていたため、今回、供用開始時は資本費についてのみ人口割でスタートすることとなった。しかしながら、両市町の処理負担については、市民・町民の分別における努力に応じた平等性が担保され、また、お互いの切磋琢磨により分別率を向上することが重要である。

よって、逗子市議会は次の事項が履行されるよう、強く求めるものである。

供用開始時の負担方法については資本費を人口割、処理費を搬入量割とし、2年目以降、収集可燃ごみ、収集生ごみの組成分析等から算出した逗子市の生ごみ分別率70%を基準値として、資本費を人口割から搬入量割に変更する。

以上のとおり決議する。

令和5年9月29日

逗子市議会

松本寛議員に対し猛省を求める決議

松本寛議員は、閉庁日である本年8月11日金曜日、午後4時30分頃、庁舎2階の都市整備課のカウンターにおいて無断で道路台帳を閲覧していたことが、明らかになった。

議員といえども閉庁日に許可なく資料を閲覧する行為は認められるものではない。

よって、逗子市議会は、議員の職責に鑑み、松本寛議員に対し猛省を求めると共に二度とこのようなことが繰り返さないよう強く求めるものである。

以上のとおり決議する。

令和5年9月29日

逗子市議会

市民交流センターフェスティバルパーク整備に関する決議

市民交流センター整備事業については、フェスティバルパークの現状が激しく劣化しており、根本的な修繕が必要である。人工芝は天候に左右されず活用がしやすい反面、夏場は高温になることも懸念される。

よって、逗子市議会はフェスティバルパークの修繕に当たっては、環境に配慮した工法を調査、検討することを求めるものである。

以上のとおり決議する。

令和5年9月29日

逗子市議会

令和4年度一般会計・3特別会計・下水道事業会計決算を認定

9月11日の本会議(第2日)

において、決算特別委員会を

設置し、委員の選任を行い、

令和4年度一般会計並びに国

民健康保険事業、後期高齢者

医療事業、介護保険事業の3

特別会計及び下水道事業会計

の決算議案を付託し、特別委

員会の審査後、9月27日の本

会議(第3日)において、全

会計の決算議案を認定可決し

ました。

議案の審議結果

▼令和4年度一般会計歳入歳

出決算の認定について…認

定可決(全員賛成)

▼令和4年度国民健康保険事

業特別会計歳入歳出決算の

認定について…認定可決

(賛成多数)

▼令和4年度後期高齢者医療

事業特別会計歳入歳出決算

の認定について…認定可決

(全員賛成)

▼令和4年度介護保険事業特

別会計歳入歳出決算の認定

について…認定可決(賛成

多数)

▼令和4年度下水道事業会計

決算の認定について…認定

可決(全員賛成)

本会議での意見討論

9月27日の本会議において
令和4年度決算議案の採決に
先立ち、次のような討論が行
われました。

▼下水道事業会計の決算に賛
成の立場

決算総括結論の際に、代表
監査委員に本市の下水道事
業会計に多額の含み益が時
価評価すると出るのである
いか。また、証券化等する
とどうなるかといった問い
に対し、詳細は分からない
時価評価は市にとってメ
リットがないといったよう
な答弁があったが、私は市
民にとって、より具体的に
実態表記することによりス
クを回避することが重要と考
えており、そでないもの
については、決算は昨年か

ら反対してきた。今回、代
表監査委員の答弁の中で、
不動産の含み益は下水道事
業会計において、ほとんど
ないとの指摘について調べ
たところ、下水処理場は約
2000坪あるが、工業用
地とはいえ、1円で資産計
上されている。こういった
ことも来年の監査で説明を
加味してほしい。また、証
券化で負担が増えるといっ
た趣旨の答弁があったが、
セールアンドリースバック
を活用したり、企業会計に
なつてから減価償却ではP
L上はマイナスとなってい
るが、キャッシュフロー上
は事業上のキャッシュフロ
ーは大幅な黒字だ。こうい
ったものを活用することで、
将来の建設費用のリスクを
回避するなど、国の基準や
市の基準、他の自治体の基
準に合わせない、独自のス
キームを注記などで指摘を
していただきたい。

令和4年度決算総括表

(単位：円)

区 分 会計別		決 算 額		
		歳 入	歳 出	収 支 差 引 額
一 般 会 計		25,368,482,254	23,373,065,798	1,995,416,456
特 別 会 計	国民健康保険事業	6,134,860,308	5,985,362,727	149,497,581
	後期高齢者医療事業	1,373,018,455	1,329,972,720	43,045,735
	介護保険事業	6,575,953,000	6,267,226,710	308,726,290
	計	14,083,831,763	13,582,562,157	501,269,606
合 計		39,452,314,017	36,955,627,955	2,496,686,062
企 業 会 計	下 水 道 事 業	3,512,236,667	3,722,314,057	△ 210,077,390

【備考】 企業会計は、収益的収支と資本的収支の合計。資本的収支差引不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。なお、不足する額は、当年度同意済企業債の未発行分をもって翌年度に措置します。

決算特別委員会で審査

決算特別委員会の審査は、9月12日、13日及び14日の3日間、総務、教育民生の各常任委員会の所管別審査及び全般審査を行い、19日の総括結論では、市長ほか関係職員の出席を求め、各委員から審査過程で生じた事項について、活発な質疑や指摘、提案などが行われました。

決算特別委員

(総務所管担当)

田幡 智子委員
服部 誠委員

松本 寛委員
八木野太郎委員

(教育民生所管担当)

加藤 秀子委員

桑原 泰恵委員

平野 和之委員

丸山 治章委員

9月11日、正副委員長が次のとおり決まりました。

田幡 智子委員長

加藤 秀子副委員長

特別委員会の主な質疑

問 体験学習施設維持管理事業について、施設内のカフェちよこつとは、以前から赤字が解消できていないことから、

事業そのものを見直すべきだと求めてきた。令和4年度はどのように事業を実施したのか。
答 カフェの設置は、一定、意義あるものと考えているが、赤字が解消されていないという状況は続いており、委託先と赤字解消に向けた運営の在り方の協議を継続している。今後、体験学習施設全体のコンセプトや方向性を再構築するためのコンサルティング業務を予定しており、指定管理者制度の導入も検討しているため、この中で、カフェの在り方についても考えていきたい。

問 人事管理経費について、毎年の退職者不補充等により職員数の削減を進めた結果、スリム化されたことは大変評価しているが、成果報告書を見ると、定数に対する不足が目立っている。人材を適材適所に配置する等、業務は適切にこなせているのか。
答 定数管理の条例で定められている定数は、実数より多少余裕を持つて設定しているため、若干のかい離がある。令和3年度以降、様々な行政課題に対応するため、職員体制の充実を図っており、全体として大きく不足している認識はないが、各所管にヒアリングをしながら、的確に把握をし、適正配置に努めていく。

問 下水道事業会計について、令和3年に行ったパブリックコメントの資料には、令和4年度決算での経常損益の黒字化が示されていたが、結果、赤字となり、前年度からの累積欠損金が増加している。経常損益の黒字化はいつになる見込みか。
答 今年度末を用途に経営戦略を改定する予定である。使用料については段階的に見直しを行い、適正な事業運営を目指していくこととしており、投資・財政計画のシミュレーションを行っている。この計画の中で、令和8年度及び11年度に改定を行い、令和8年度に経常損益を解消していく。

問 避難行動要支援者システムの賃借料について、令和4年度の避難行動要支援者の登録は減少しており、多額の費用をかけているものの、十分な成果に結びついていない。おおむね5年以内に、個別避難計画の作成が市に求められているが、令和4年度はどのような議論が行われたのか。
答 要支援者の優先度を決めるには、要支援者の状況把握

市 債 の 状 況

(単位：円)

区分	令和3年度末 借入残高(A)	令和4年度 借入額	令和4年度 元金償還額	令和4年度末 借入残高(B)	借入残高 増減(B-A)
一般会計	17,391,159,418	993,421,000	1,962,874,760	16,421,705,658	△969,453,760

令和4年度末の市債借入残高は、164億2170万5658円で、前年度末に比較して、9億6945万3760円減少した。

財 務 比 率 の 推 移

区分	年度別	4	3	2	備 考
実質収支比率(%)		15.3	17.5	13.1	実質収支の黒字・赤字は財政運営状況判断するポイントで、この比率は標準財政規模に対するその割合をいう。
経常収支比率(%)		93.5	85.6	93.2	財政の弾力性を示す指標で、経常一般財源に対する経常的経費の割合をいう。この比率が高いほど経常余剰財源が少なく、財政の硬直化が進んでいることを示している。
公債費比率(%)		8.6	8.6	8.6	公債費(元利償還金支払総額)の一般財源に占める割合をいう。
財政力指数		0.815	0.837	0.861	財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3年間の平均値。この数値が高いほど財源に余裕があることを示す。

が非常に多岐にわたり、大変難しく、福祉部と連携していくことが本来の考え方はあるが、簡単にはいかなかった。令和4年度は他の自治体との情報共有に努め、情報収集を行った。今年度から関係部署と協議し、早急に要支援者の優先順位を定めていく。

一般質問の要旨



「はげ山」を災害時に利用可能な公園として活用を検討！

無会派 加藤 秀子 議員

市民の大きな反対 無ければ取得へ！

問 この度、市として活用策を検討することを神奈川県副知事へ伝えたことが報道された。どのような活用策を考えているのか。また、無償貸与か購入を考えているのか。

市長 周囲をがけ地で囲われた丘陵地の形状、道路との接続状況を含めた位置などから、当該地において公共施設（ハコモノ）を整備することは難しいが、市民の皆様や議会の理解がいただけることを前提として、例えば、広く市民が利用することができて、災害時にも活用できる公園などであれば、市として活用の可能性もあると考えた。県が所有している今このタイミングで活用に向けた検討を行い、市民の皆様のご意見を聞く機会を持つべきものと考えた。また、

市として活用する場合に、貸与による限定的な活用ではなくて、取得を前提に考えている。

「分かる」に繋がる学習支援ソフト充実を

問 分かるためのDXを用いた家庭学習の充実を図るためには学習支援ソフトの充実を図るべきではないか。

教育長 家庭学習支援ソフトは、現在、本市では、デジタルドリルというソフトを小学校で導入している。今後は中学校への導入も検討している。

自動運転バス導入し地域の足の確保を

問 塩尻市では2020年より実証が開始、先月からレベル4の自動運転が開始され、雇用促進の機会にもつながっている。本市でも検討すべきではないか。

市長 自動運転バスについては、現在、複数の自治体で自動運転の実証事業が進められており、レベル4の段階のものも増えていると聞いているが、全国的にもまだまだ数少ない事例であり、本市が優先して取り組むべきこととは考えていない。

※この他に、災害対策、体験学習施設（スマイル）、駅前送迎保育ステーションについての質問がありました。



はげ山の夕陽
(逗子フォト)

防災指針・地域特性を鑑み 具体的な策を

問 都市計画マスタープランから立地適正化計画、防災指針の策定に関し、私は2021年より避難困難地域4地区を抽出、具体的な対策を求めてきた。沿間1丁目…洪水データが無く、田越川未整備区間に大きな災害リスクが存在。桜山1、2丁目…洪水想定区域の中心ながら雨水と汚水の合流式下水道であり、一旦溢れば木造住宅群は建替えを余儀なくされる。また同地区避難所の全てが浸水予測。桜山下地区…市内で唯一避難所が無い地区。市は公助の責務を怠っていない。池子1丁目…田越川と池子川合流地点は、時間81mmの雨で消防北分署やアリーナも浸水予測。これは1994年、市県国による33項目三者合意の内容と異なる。以上、

20年後の街の姿・都市計画と防災指針の策定が年度内！

無会派 松本 寛 議員

三方山に囲まれ、他方を海に開く地勢において、国の求め通り土砂災害を避け中心市街地に居住誘導すれば、洪水、高波、津波による被災リスクが増大する。市はこの矛盾した求めにどう応えるのか。市長 居住誘導区域には、土砂災害の関連法に該当する区域を除外するが、その他の災害リスクについては周知啓発を図る。

年度内の策定・市民見聞の集約と反映を

問 計画案はデータ分析と予想に終始し受動的だ。街をどうしたいのか、能動的なものでない。作成過程で市民参加が不十分だった証左ではないか。市長 説明会参加者は確かに多くはなかったが、質疑等、時間いっぱいまで行われた。

都市マス・全公園の魅力の最大化を

問 都市マス目標年次、20年後には人口が1万2000人減少。計画案は、にぎわいを未だ商業地域に頼るようだが、今後、人が集い、にぎわいを期待すべきは緑豊かな公園等公共スペースだ。全公園を緑と天然素材で構成し、本市の戦略とすべきだ。環境都市部長 サステイナブルな素材を使用し、



この街の20年後。
愛と希望と英知を未来へ



現状を絶えず見直し、 未来を見据えた政策を

市政クラブ 桑原 泰恵 議員

学習支援員の働き方の見直しを

問 個別支援計画や支援シートについてICTを活用する考えはないのか。
教育長 チームで支援にあたる学校現場では、複数の情報が散逸したり、情報の収集に時間がかかったりすることから、ICTを活用していくことは大変有効である。実際に使ってみるなどしながら、子どもへの支援にともなう、また、結果として教職員の働き方改革にも資する方法やアプリ・ソフトについて引き続き研究を重ねていく。

子育て支援を推進する体制や施設運営を

問 市内の子育て支援施設については、東逗子駅前用地に子育て支援施設が今後移設することで、東部地区に施設が偏る。施設の偏りについて、ど

のような対策をするのか。

市長 東逗子駅前用地に子育て施設が移設すること、今後市内の東部地区に子育て施設が集中することは認識している。

また、各子育て施設についても、それぞれ設置については、経緯も様々であり、開設当時は時代にあつた形で運営を始めたが、開設から時間が経過し、今の子育て環境に適していない部分もある。このため、大局的な観点から子育て施設の配置や運営方法等を見直す必要がある。来年度は子ども・子育て支援事業計画の改定年度であり、その中で話し合いをして行く。

JR東逗子駅前用地活用の展望は？

問 よつやく東逗子駅前用地が活用されるということだが、東逗子の駅前だけでなく、これをきつ

かけに東逗子エリア全体をどのように発展させていくとしているのか。

市長 総合計画の土地利用方針に定めるように、商業地は一定程度の面積利用・高度利用など、有効かつ適正な土地利用を図っていくべきと考えている。エリアの中心となるJR東逗子駅前に、地域の人々が集い賑わう拠点施設を整備する本事業を起点として、まちの魅力を高め、地域の活性化につなげていきたい。



木陰で外遊び

通級指導教室の巡回型支援のこれから

問 令和5年度から支援教育事業の拡充がなされ、6月から巡回型の通級指導教室が逗子小学校にて始まった。現段階での現状を伺う。

教育長 通級指導教室の担当教員が指導できる担当人数は10名が目安となっている。現状は、通級申請の出ているお子さんについて、基準を超えた状況ではあるが、受け入れて指導している。本年5月に、通級指導教室の指導の拡充を図るべく、逗子小学校で巡回型の通級指導教室をスタートさせた。今回、新規に通級指導教室への入級を希望する児童のうち、6名の児童を対象として、1人の担当者が指導を行っている。巡回指導をすることによって、目安を超えている状況から一定の改善



多様な学びを通して未来へ つなぐ更なる可能性を！

公明党逗子市議団 江淵 真紀子 議員

が図られている。

中学校生徒に向けて 献血の啓発について

問 本年6月の政府の骨太の方針に小中学生への献血啓発が示された。15歳以下の段階から、献血の重要性、16歳になったら献血ができるとの周知が重要と考えるが、いかがか。

教育部長 献血の役割、必要性については理解している。献血については、自分から進んで血液を提供するボランティア活動というところであることから、ボランティア活動の一つとして紹介することやポスター掲示、資料の配架などを通じて、献血に対する理解を進めるようなことが可能と考えている。

小坪2丁目県有地 はげ山について

問 はげ山の一角には、急傾斜地レッドゾーンも含まれており、木々の伐採という形での対処も考えているとの話だが、それで安全対策は保たれるのか。

環境都市部長 当該地はレッドゾーンが広範囲で含まれている。そこについては、伐採ということではなく、土木工事による安全対策、これも周辺の安全を守るということでは当然想定される。



献血理解のテキスト

一般質問の要旨



関東大震災から百年を迎え安心 安全な暮らしやすい街作りへ

無党派 佐藤 恵子 議員

命を守るには備えることが重要である

問 津波から命を守るには、海に隣接している新宿や下桜山地区、また逗子海岸の来訪者も含め、高いところへの避難が必要だと思う。津波避難ビルに関しては、新宿1丁目付近の住民は津波避難ビルより、蘆花記念公園が津波避難場所として近いと思うが、毛布・水などは備蓄されているのか。
経営企画部担当部長 現在、蘆花記念公園をはじめ、屋外の避難場所については、備蓄品を備える計画になっていない。しかし、実際に津波が襲来した場合は、水が引くまで、あるいは警報が解除されるまで時間がかかり、一夜をそこで過ごすといったようなことも考えられる。少なくとも防寒着や水といった備蓄について、進めていきたい。

桜の街路樹は逗子のシンボルとして大切

問 高度成長期より整備された道路や道路附属物のうち街路樹についても老朽化が著しく、対策が必要であると思われる。今後の街路樹の維持管理や整備の見解を伺う。
市長 市街地の緑は潤い豊かな生活を送る上で大切にしていきたいが、やはりそこで暮らす住民の意向が優先されるべきであると考えている。まずは、地元自治会が中心となり、街路樹を今後どのようにしていくか、方向性を見いだしていただき、その上で市と地域が協働しながら整備していきたい。

地域住民の再考の思いが市を動かした！

問 はげ山について、前定例会で、市は取得しない方針であったものが、活用に向けて検討を行う



指定避難場所（津波）
の蘆花記念公園

方針へ変更になった。その理由は何か。
市長 この間、地域住民などから再考を求める要望書と署名8000筆以上が県知事あてに提出された。また、市政相談等でも様々な立場の市民から要望をいただき、皆様の思いを重く受け止めた。

※この他に、逗子海岸、若いファミリー・若年層の定住促進、認知症についての質問がありました。

JR逗子駅前交番の早期の設置について

問 駅前交番が閉鎖されて1年が過ぎたが多くの市民から、早期の駅前交番設置を望む声が寄せられている。市民の安心・安全はもとより、本市に訪れた方にも安心感を与えるものだと思うが、今後の交番設置について、行政の展望を伺う。
市長 現在行われている移設工事は、早ければ今年12月に完了すると聞いている。移設完了後は車両によるアクティブ交番を導入し、市内の公共スペースを中心として定期的に常駐・巡回し、業務に当たると聞いている。

逗子創業スクールの評価について問う

問 今後、行政としても更に起業を推し進めるべきであり、起業に無関心の方や掘り出し切れてい

住み続けたい街、第二位 「逗子」について市長に問う

自民党逗子市議員 桐ヶ谷 一孝 議員

ない潜在的なニーズへのアプローチが必要である

問 人口減少や節水の電化製品などの普及によって、下水道使用量は著し



老朽化した下水道管

く減少している。健全な維持管理や運営を今後していく上での中長期的なビジョンについて伺う。
市長 現在、下水道事業を運営する上で基本指針となる経営戦略の改定作業を、来年3月を目途に進めており、その中で、中長期的な投資や財政計画のシミュレーションを行っている。経営基盤の強化と同時に十分な情報提供を行い、安定した運営を目指していきたい。



小坪県有地「はげ山」の活用 は市民の声を反映すべき。

自民党逗子市議員 八木野 太郎 議員

「はげ山」の活用は 今の自然を残す形で

問 はげ山の活用について、多くの意見を収集することは理解するが、それぞれが思い描くはげ山の在り方は千差万別である。市は何をもって方針を決定するのか。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

環境都市部長 10月14日に開催する市民向け説明会を経て、12月の「広報ずし」に整備方針の概要を示す予定である。その間に大きな反対がないことが判断できれば、取得に向けて、来年度から市民参加手続などを進めることを想定している。

使用量が減少していない理由はどのように分析しているのか。

市長 印鑑を忘れたため窓口で手続できなかったなどのケースは、確実に減ってきている。

総務部長 紙で引き継ぐ保存文書の冊数が、令和元年度から2年度で大きく増加している課があった。今年度から財務会計システムに電子決裁を導入したことも含めて、紙の使用量の減少に努めていきたい。

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

問 日本では資産運用に対して、大損するかもしれないなど負のイメージが根強い。正しい仕組みと知識を学ぶことで、市民の所得倍増や税収の増加につながると思うが市の金融教育について見解を伺う。

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ

金融リテラシー向上で市民の所得倍増へ



市民の財産「はげ山」
(提供：逗子ドローンクラブ)

教育長 小中学校では家庭科で金融について学んでおり、市民向けの社会教育講座では令和元年度に、シニア世代のマナー講座を開催した。安心して暮らしていくための金融・経済知識を学びたいという市民の要望は少なくないと認識している。

※この他に、葉山町との生ごみ共同処理、個人情報管理の強化についての質問がありました。

環境都市部長 家庭で取り組める仕組みを広く周知するためには、ホームページやSNSの活用はもちろん、イベント形式での周知も大変有効と考えているため、関係者の協力を仰ぎながら企画を検討していきたい。

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

問 8月に市役所1階ロビーにウォーターサーバーが設置され、プラスチ

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置



今夏の猛暑は異常気象!! 温暖化防止に脱炭素化は急務だ。

公明党逗子市議員 田幡 智子 議員

0円ソーラー、EV カー体験の周知を!

問 太陽光発電システム

の導入促進のために0円ソーラー制度の説明会を行った。市役所の地下で目立たないところにある電気自動車の体験会のようなイベントを開催したりすることが、カーボンニュートラルの理解を早めると考えているがいかがか。

環境都市部長 家庭で取り組める仕組みを広く周知するためには、ホームページやSNSの活用はもちろん、イベント形式での周知も大変有効と考えているため、関係者の協力を仰ぎながら企画を検討していきたい。

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

問 今までは子育て世代をターゲットにしてシティブロモーションを行ってきたが、市外からの参加者に本市の魅力を感じてもらいたい、いずれば本市で新しい人生を始めてもらう。また第2期逗子市まち

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ウォーターサーバー
公共施設に広く設置

ック削減効果が期待されている。市内公共施設にも設置を広げていけば、更に削減が推進されると考えるが、見解を伺う。

環境都市部長 まずは市役所に設置したが、図書館や2コミュニティセンター、逗子アリーナ等を候補とし、実際に業者に設置場所を確認してもらっている段階であり、年度内の設置に向けて調整を進めている。

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

問 今までは子育て世代をターゲットにしてシティブロモーションを行ってきたが、市外からの参加者に本市の魅力を感じてもらいたい、いずれば本市で新しい人生を始めてもらう。また第2期逗子市まち

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

問 今までは子育て世代をターゲットにしてシティブロモーションを行ってきたが、市外からの参加者に本市の魅力を感じてもらいたい、いずれば本市で新しい人生を始めてもらう。また第2期逗子市まち

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

市の魅力発信する
婚活イベントを♡

市の魅力発信する
婚活イベントを♡



周知されてきた
市役所1階の給水スポット

一般質問の要旨



徹底した現場主義で、不法、不適切、不合理行為を抑制

無会派 平野 和之 議員

生コン汚染水 不法投棄事件

問 私がかつて、橋の下で廃棄された生コン汚染水を被った経験から、建設現場周辺でコンクリート汚染水の不法投棄に気づき、動画を撮影し、通報した。不法投棄に対する市の対応を問う。

環境都市部長 産業廃棄物の不法投棄への対応は県の権限であるため、不法投棄が疑われる案件の通報については、まず現場で状態を確認し、県と警察と連携して、対応している。工事関係車両の

洗浄作業は工事現場内で行われるべきであり、今回の行為は、非常に不適切な行為であるため、まちづくり条例に基づく開発案件として、適切に指導等を行っていく。

一部のNPO団体に営利事業を委託？

問 商工会の電子商品券の運営委託におけるコーラルセンター業務やスポーツ協会のホームページのリニューアル業務が、NPOに委託されている。不適切な取引と思われるものがあるが、見解を伺う。

市民協働部長 市が商工会等に委託する場合は、財務規則に従い契約している。

その後、各団体が一部業務の委託契約等を結ぶ場合には、各団



汚染水を不法投棄された富士見橋（投棄動画を撮影し、警察に通報）

体のルールに基づき契約し、適正に執行されていると考えている。透明性や公平性に十分留意して執行されるよう改めて指導していく。

イベントによる外食産業の収益圧迫懸念

問 一等地のイベントによる飲食販売は、キッチンカーを含め、地域の飲食店の収益を圧迫していないか懸念があるがいかがか。

市民協働部長 飲食店、キッチンカーは共に地域のにぎわいづくり、活性化に重要な要素を担っており、自由な発想と創意工夫により共に活発に活動されることを期待している。

※この他に、葉山町との生ごみ資源化、県有地売却政策についての質問がありました。



「いのち」と「くらし」を守るまちづくりの一步

市政クラブ 服部 誠 議員

認知症の人に優しい地域づくりについて

問 認知症基本法が成立した。本人、家族の意見を取り入れた計画づくり、理解・社会参加促進、相談・情報提供の拡充、行方不明者対策強化などを図れないか。

市長 認知症の人が尊厳を保持し、希望を持って暮らせるよう、市民意見を伺い施策を実施する。また、市民に正しい知識と理解を深める機会を提

供し、認知症の人も含めて一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていける地域共生社会の実現に向けた施策を継続していく。

福祉部長 行方不明者情報の周知は、現在もSNSを利用しており、家族の同意を得ながら個々のケースで判断したい。

風水害時の対応について

風水害時の対応について

問 現在市の計画では、児童生徒が学校にいるときに風水害がひどくなつた際には、警戒レベル4が出ないと帰宅・引渡しをしないこととなつている。安全のため帰宅判断を早められないか。

教育長 子供達の在校時は、大雨警報で警戒レベル4が出たとき、引渡しや一斉下校の措置を取っている。近年の災害の激甚化や気候変動による環



認知症の方も参加しやすいオレンジカフェ

境変化も考慮し、柔軟に判断していきたい。

体験学習施設スマイルについて

問 令和7年度からの指定管理に向け、多世代の方や学校に行かない選択をした子供達の利用が図れないか。また、利用率向上に向け、予約システムを導入できないか。

教育部担当部長 施設の方向性の再構築を行うコンサルティング業務の委託事業者を選考する際に、子育て、教育、福祉分野が連携した活用方法を提案していただき、指定管理者の選考につなげていく。予約システムの導入は、現時点では難しいが、指定管理者制度導入と一緒に検討していきたい。

※この他に、医療情報提供についての質問がありました。



市民が安全・安心して暮らせる心豊かなまちづくり

市政クラブ 勾坂 祐二 議員

環境施策の推進 補助制度の拡充を

問 カーボンニュートラルを推進するために、今年から新たな補助制度が追加されたが、室内の断熱改修工事の補助を更に拡充してはどうか。

環境都市部長 当該補助金の補助の条件は、1つの居室において外気に接する全ての窓の改修を必須として、任意で壁、天井、床の改修も補助対象としているが、実績がなく、ハードルが高いものと思われるため、改善を図っていききたい。

空き家対策の取組 進捗状況は

問 令和元年に空き家バンク、令和4年度には専門家による空き家アドバイザー派遣制度を創設し、空き家が抱える課題解決に向け、利活用の促進、空き家の抑制及び流通促進

進に努めているが、これまでの取り組み状況は。

市長 空き家アドバイザーは、誰に、どこに相談したらよいか迷っていた所有者に対し、適切な利活用を提案することができていると感じており、昨年度11件、今年度も既に6件の相談がある。空き家バンクは、今年度の新規登録はないが、既に登録されている物件に関しマッチングがなされ、累計実績としては、登録が28件に対して、解消が



空き家流通促進補助
モデル事業

24件となっている。

教員の負担軽減を 学校給食の公会計化

問 教員の業務負担を軽減し、子供達に効果的な教育活動ができるよう、全国的に学校給食費の公会計化が進んでいる。本市の公立小中学校の現場からも、学校給食費の公会計化の要望が上がっていること認識しており、学校給食費の公会計化を進めていくべきと考えるが、見解を伺う

教育長 学校給食の公会計化は、教員の事務負担の軽減の観点からも、早急に着手していくべき課題であると認識している。まずは課題の整理から着手し、早期に実施できるよう進めていきたい。

※この他に、公契約条例、学校教育についての質問がありました。



自分たちの住むこのまちを 住みやすく発展させるために

自民党逗子市議員 眞下 政次 議員

長柄桜山古墳群の 今後の活用方法は?

問 今年度で概ね第1号墳の整備が終わるとのことだが、今後の活用について伺う。ガイダンス施設やトイレの設置は検討していないのか。

教育長 アクセス等課題はあるが、県内最大級の前方後円墳として大変貴重なであり、学校の授業での活用やホームページ等で周知を図り、多くの市民に訪問してほしい。

教育部長 蘆花記念公園から第1号墳の一带の活用の中で、必要な施設の設置は考えていきたい。

観光資源である逗子 海岸年間利用を考える

問 今年度は猛暑で海水浴場に来る人が少なかったとのことだが、所見を伺う。また、観光資源として、海水浴客だけではなく、マリンスポーツを楽

しむ人たちが利用できるような施設を設置・運営する等年間利用できる海岸に積極的に変えていく考えはないか。

市長 猛暑により主要な客層である子供連れや学生グループが減ったことが原因と捉えている。年間管理については自然相手のため、財政的にリスクがあるものと考えている。有効活用等含め様々な角度の検証が必要である。

永年の市政課題である 「はげ山」を考える

問 これまで市は県と地元の問題として基本的には関わらないことを表明していた。ここに来て、取り組んでいくこととした市長の真意を伺う。

市長 民間に売却するというかたちでこの問題に決着を図る考えが県から示され、多くの地域住民等から再考を求める声が

あがった。その強い思いを重く受け止めた。一旦県が民間に売却すると決定した場合、民間との交渉は労力や資金面で大変難しくなると考え、市として検討を開始するのはこのタイミングがぎりぎりであると判断したものである。

※この他に、葉山町との生ごみ処理、学生議会の今後、防災対策、これからのまちづくりについての質問がありました。



間もなく整備が完了する
長柄桜山古墳群第1号墳

一般質問の要旨



ソフトとハードの充実で 住みやすいまちづくり

市政クラブ 高野 毅 議員

根本的原因を究明し 逗子海岸砂浜を保全

問 砂浜維持のため、毎年県が砂を搬入しているが、西浜では1年もたたず流出している。将来にわたり海岸の環境を保全するためにも原因を突き止め、対策を協議する必要があるが、いかがか。

市長 マリンシヨップや漁業関係者の意見も聞きながら、海岸工学を専門とする大学の研究者の協力を得て、抜本的な対策に向け調査研究を進めているところである。まだ報告できる段階ではないが、対策に向け動き出している。

**生ごみ広域処理
目標分別率は70%**

問 現在、葉山町と生ごみ処理の広域連携に向け協議が進められ、本市は分別率70%を目指すとのことだが、達成するため

の取組と維持していく方策を伺う。

環境都市部長 これまで、ごみ行政では様々制度改正をしてきたが、経験上リバウンドが起きるものではないと考えており、目標達成後は更に分別率を向上させていく取組となることを想定している。家庭での自家処理の促進や食品ロス削減に取り組んでいけるような周知を図っていききたい。

**部活動の地域移行
山積する課題…**

問 部活動の地域移行については、教員の負担軽減、部員数が減った部活動の継続、専門的な技術等を持った指導者からの指導等メリットがある反面、指導者や活動場所の確保、指導料や施設利用料の費用負担が生じることで懸念されている。本市の規模ではハードルが

高いと感じるが、今後どのように進めるのか。

教育長 次年度に検討会を立ち上げ、関係諸機関との連携をスタートさせる。令和7年度には市のガイドライン作成に着手し、令和8年度に準備の整った地域から順次開始したいと考えている。

※この他に、逗子海岸海水浴場、下水道事業、樹木の維持管理についての質問がありました。



神奈川県が実施している逗子海岸の養浜工事

10年以上の準備を 無にしたのはなぜか

問 小坪小学校横の県による急傾斜地崩壊防止工事の今後の予定と、児童の津波避難対策として、私が多数の土地所有者と長年調整し、地域住民や保護者同意の上、ようやく県の手承を得た、緊急避難用の斜面を上げられるような処置について、施工されない理由を伺う。

教育長 来年度、県による工事は完了するが、その後も小学校を取り巻く斜面地全体について、必要に応じ、のり面整備工事を行っていききたい。

教育部長 斜面が簡単に登れることを、児童の安全対策上、学校側が懸念を示したため、処置されなかったと認識している。

**はげ山についての
方針転換の理由は**

問 平成22年以来何度も

長い時間をかけて準備した ものを台無しにするな！

自民党逗子市議団 丸山 治章 議員

はげ山について質問し、防災公園等設置を提案してきた。なぜ急に活用を検討することとしたのか。

市長 これまで財政的に判断できないとしてきたが、県の民間への売却方針に対し、地域住民等から再考への強い要望があり、まずは民間に渡る前に、活用について市民や議会に承認が得られるか、判断が先決と考えた。立地状況から様々な課題がある中、全市的に捉える必要があり、災害時等の活用に資するものでない限り、市民の理解は得られない。数多くの思いを形にするため、これらを乗り越えていきたい。

**年金の脱退一時金と
生活保護について**

問 外国籍の人が日本を出国する際、条件を満たせば、脱退一時金を受け取り、何度も繰り返すこ

とができる。他の自治体で、これを5年ごとに繰り返し、高齢者となったが、年金がないため生活保護受給者となった事例がある。本市でそのような事例はあるのか。

福祉部長 そういった事例はない。

※この他に、スポーツ、インフラ整備、小坪海浜地域、自殺予防対策、アーカイブについての質問がありました。



急傾斜地崩壊防止工事

教育民生常任委員会

行政視察報告

教育民生常任委員会が

7月19日から21日までの3日間、札幌市、江別市、七飯町の2市1町を訪問し、先進事業等の調査・研究を実施しましたので、概要をご報告いたします。

北海道札幌市

テーマ ICTを活用した教育について

事業の概要

札幌市立中学校は令和2年10月から、一人一台端末活用のモデル研究校に指定され、主に授業・校務に関するDXを推進してきた。研究校として試行錯誤してきた末の学校の変化としては、生徒とともにつくる授業が、これまで以上に生徒の学びたい、やってみたいという気持ちを大切にしたものになったことなどが挙げられた。

北海道江別市

テーマ コミュニティ・

スクールについて

事業の概要

えべつ型コミュニティ・スクールには、地域に根ざした教育を生かし、これまでの取組を基盤としていること、学校運営委員会に、学校運営への参画などの機能を持たせていることなどの特徴がある。各学校からは課題として、熟議の議題や方法等を充実し、更なる委員会運営の工夫を図ることなどがあ

げられた。

北海道七飯町

テーマ 妊娠・出産から

子育て・教育ま

での一貫した子

育で施策について

事業の概要

本市からの母子保健事業において、乳幼児への健康診査や訪問指導等のほかに、産後ドウラのような家事援助のサポートはないのか、という問いに対して、道内ではなじみのない仕組みであるが、本町だと養育支援訪問事業が近似している。保健師や保育士が指導や傾聴などを行う事業であり、原則として年20回以内を利用回数としている。また、重層的支援体制整備事業として、令和2年10月には子育て世代包括支援センターに窓口を一本化した。教育委員会や学校などが連携しながら解決を図るため、学校だけでは解決が困難な事案が発生したときにスムーズな対応を図れるよう効果を上げてきている。

議会傍聴のご案内

● 本会議の傍聴

● 定員 一般席

車椅子席

5人

43人

● 常任委員会・議会運営委員会・

議会報編集委員会の傍聴

● 定員

12人

(全員協議会室で開催する

場合は25人)

● 特別委員会の傍聴

● 定員

15人

(予算特別委員会は12人)

● 全員協議会の傍聴

● 定員

8人

● 受付時間

・午前9時から9時45分まで
(本会議・各委員会とも同じ)

● 傍聴の手続き

会議の傍聴を希望する方は、本人が本会議、委員会、全員協議会の開かれる当日、受付時間内に議会事務局(市役所4階)前の受付票に氏名を記入してください。なお、午前9時45分の受付終了時に傍聴希望者が定員を超えていた場合は、抽せんとなります。詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

内線405

傍聴席では次の事項を厳守し、お静かに傍聴されますようお願いいたします。



- 1 発言に対して拍手などにより公然と可否を表明しないこと。
- 2 雑談、大声で歌う、大声で笑うなど騒ぎ立てないこと。
- 3 はち巻、腕章の類をする等、示威的行為をしないこと。
- 4 帽子、外とう、襟巻、傘の類を着用し、又は携帯しないこと。
- 5 飲食又は喫煙をしないこと。
- 6 プラカード、旗又は笛等を持ち込まないこと。
- 7 写真撮影や録音等をしないこと。
- 8 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末による、外部との通話、通信、閲覧を行わないこと。
- 9 以上に定めるもののほか、会議の場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないこと。

※傍聴は、係員の指示に従ってください。

第3回定例会の議案等の賛否状況一覧

会 派 名		自民党 逗子市議団				市政クラブ			公明党		無党派								
件	名	付託委員会	議決結果	眞下政次	丸山治章	八木野太郎	桐ヶ谷一孝	菊池俊一	高野毅	勾坂祐二	桑原泰恵	服部誠	田幡智子	江淵真紀子	加藤秀子	橋爪明子	佐藤恵子	平野和之	松本寛
市長提出議案																			
専決処分の承認について [令和5年度逗子市一般会計補正予算(第4号)]	—	承認	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について [高機能消防指令センター整備事業]	総	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得について [災害対応特殊救急自動車購入]	総	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
逗子市立体育館の指定管理者の指定について	総	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
逗子市都市公園有料の公園施設の指定管理者の指定の期間の変更について	総	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
逗子市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正について	—	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
逗子市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	—	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度逗子市一般会計補正予算(第5号)	総教	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和5年度逗子市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	教	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度逗子市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	教	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度逗子市一般会計歳入歳出決算の認定について	決	認定	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	認定	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和4年度逗子市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	認定	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度逗子市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	認定	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和4年度逗子市下水道事業会計決算の認定について	決	認定	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議について	総	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について	総	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
教育委員会委員の任命について	—	同意	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報公開審査委員の委嘱について	—	同意	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人情報保護委員の委嘱について	—	同意	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	—	異議ない旨答申	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出意見書案等																			
保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書	—	可決	×	×	×	×	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
松本寛議員に対し猛省を求める決議	—	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	除
葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議に関する決議	—	可決	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民交流センターフェスティバルパーク整備に関する決議	—	可決	×	×	×	×	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
※ 付託委員会：総…総務常任委員会 教…教育民生常任委員会 決…決算特別委員会 —…委員会付託を省略 ※ 賛否状況：○…賛成 ×…反対 退…退席 除…除斥(地方自治法第117条の規定により、自己に関する議事には参加できない。) ※ 菊池議長は、採決に加わらない。 ※ 公明党：公明党逗子市議団の略																			